

光市児童家庭相談システム機能要件書

機能の実現可否について、以下の区分の機能確認欄に「○」を付けてください。
記入なしは不可と判断します。

- ① 対応：標準パッケージ機能で実現可能
② カスタマイズ：有料又は無料
③ 代替：標準パッケージ内の代替機能で実現可能
④ 対応不可：対応ができない場合

No.	分類	評価基準	提案者記入(機能確認欄)					
			対応	カスタマイズ(有料)	カスタマイズ(無料)	代替	対応不可	備考
1	システム要件	サーバーのデータベース、ミドルウェア等は端末追加時に追加のライセンス費用が発生しないようにオープンソースの技術を用いて構築されていること。						
2	システム要件	クライアント端末にソフトウェアをインストールする必要がなく、ブラウザ上で動作するWebシステムであること。						
3	システム要件	製品の品質信頼性の観点から、現時点で複数の地方公共団体で稼働実績のあるシステムであること。(都道府県、政令都市除く)						
4	システム要件	データ保全の観点から、前日のデータバックアップの結果が通知されること。						
5	トップ画面	ログインしたユーザー自身の訪問面談などの支援スケジュールが確認できること。また、月間スケジュールや他のユーザーの支援スケジュールも確認できること。						
6	トップ画面	特定妊婦ケースの場合、出産予定日の近い順に通知表示されること。						
7	トップ画面	家庭訪問など、支援の予定日から遅れているものが通知表示されること。						
8	住基連携	住民基本台帳との連携を行い、一度に児童と家族の基本情報の連携ができること。						
9	住基連携	連携時に児童から見た続柄に変更できること。						
10	住基連携	住民基本台帳に異動があった場合、自動的に画面に通知されること。また、異動内容の詳細が確認できること。						
11	母子保健連携	母子保健データとの連携ができること。						
12	児童情報	既存の相談経過記録をデータ移行することができること。						
13	児童情報	生年月日を入力すると自動的に現在の学年が表示ができること。						
14	児童情報	世帯区分や福祉サービスの受給状況からシステムが自動的にリスクを判定し表示できること。						
15	児童情報	児童の氏名が不明や匿名でも登録できること。						
16	児童情報	通告などで児童の性別や年齢が不明の状態でも一旦登録できること。但し、統計帳票出力時にはチェックを行うこと。						
17	児童情報	居所不明児童の管理と検索ができること。						
18	児童情報	本年度最終予定(本年度18歳到達も含む)の児童の検索ができること。						
19	児童情報	ジェノグラム作成機能と帳票の家族構成図欄への自動貼り付けの機能を有すること。						
20	児童情報	児童の健診・予防接種履歴を時系列に管理できること。また、健診・予防接種の種類はマスターメンテできること。						
21	児童情報	異動等が発生した場合、児童情報の変更履歴が自動作成できること。						

No.	分類	評価基準	提案者記入(機能確認欄)					
			対応	カスタマイズ(有料)	カスタマイズ(無料)	代替	対応不可	備考
22	ケース情報	通告の場合は、通告者の情報、初期対応の情報の登録及び通告連絡票の出力ができること。						
23	ケース情報	ケース情報をきょうだい等、他の任意の児童へコピーまたは移動できること。						
24	ケース情報	経過記録は任意のきょうだいのケースを簡便にコピーできること。						
25	ケース情報	複数のファイル添付と添付したファイルにメモ書きができる機能を有すること。画像ファイルは常にサムネイル(縮小)表示されており視認性が高いこと。						
26	ケース情報	住民票発行制限が掛かっている世帯かどうか管理できること。住民票発行制限の場合、ケース進行管理表とケース会議票及びCSVデータに住所は出力されないこと。						
27	ケース情報	タブレットで児童記録情報を持ち出すことができること。						
28	ケース情報	福祉行政報告例にしたがった相談受付(相談経路)、相談内容(種別)、対応(処理内容)に関する情報の登録ができること。						
29	ケース情報	相談受付時から終結に至るまでのケースの履歴管理ができること。						
30	ケース情報	児童の情報や相談内容だけでなく、経過記録やショートステイ、一時保護、施設入所の履歴も管理できること。						
31	ケース情報	要保護児童対策地域協議会対象者の管理ができること。						
32	ケース情報	ひとり親相談機能を備えていること。						
33	会議情報	ケースに関して行われた受理会議やケース会議を時系列に管理できること。						
34	検索、CSV出力	どこの画面からも基本情報だけでなく、全ての経過記録やシステムに添付しているエクセルやワード内に記載されている文字も含めて全文からフリーワード検索できること。						
35	検索、CSV出力	児童の年齢や福祉サービスの受給状況などから複合検索でき、検索結果をCSV出力できること。CSV出力時は、出力項目を任意に指定可能、且つ項目の指定内容が保存できること。						
36	帳票	実務者会議のための台帳出力ができること。						
37	帳票	児童記録票、ケース会議票はジェノグラム付きで出力できること。						
38	帳票	相談件数の集計及び出力ができること。						
39	帳票	システムから出力される全ての帳票へ自由に文字の追記、編集、図の挿入が行えること。						
40	システム管理	ユーザーID毎に利用開始日～終了日の設定ができること。						
41	システム管理	元号、改元日等をマスター管理でき、今後の改元時にも職員によるマスター設定で対応できること。						
42	システム管理	ケース担当者の変更時に一括で担当者の変更ができること。						
43	システム管理	年度変わりに自動的に学年の進級処理がされること。また、校区設定により小学校から校区の中学校へ進学させることも可能なこと。						
44	システム管理	必要に応じ出力帳票のレイアウトを職員自身が簡易な操作で変更できること。						
45	システム管理	児童情報やケース情報画面に新たな管理項目を任意に追加できること。新たな管理項目は、テキスト入力型、日付型、プルダウン型、チェックボックス型から選択できること。						